

2019年度

こども学科 講義計画集

— 第3学年 —

氏名

.....
船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051
.....

2019年度 (平成31年度) 年間計画表

2019.2.18現在

		前 期							後 期																	
		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月				
1	始業式・ガイダンス 卒業生健診	1 水	天皇の即位の日	1 土	学校見学会 C科科目終末試験	1 月	月12回	1 木	学校見学会 成龍点票締切	2 月	2 火	火12回	2 金	2 土	8月8回 ひろえは船橋	1 日	日検シブハス C科科目終末試験	1 水	元日	1 土	学校見学会	1 日	C科科目終末試験	1 日	C科科目終末試験	
2	卒業対象生健診	2 木	国民の休日	2 日		2 火	火12回	2 金		2 月	2 火	火12回	2 金	2 土	C科科目終末試験	2 月	月9回	2 木	2 日	2 日	3 月	月15回	3 火	火15回	3 火	火15回
3	水	3 金	憲法記念日	3 月	月8回	3 水	水11回	3 土		3 火	火11回	3 木	木4回	3 日	文化の日	3 火	火11回	3 金	3 日	3 日	4 火	火16回	4 水	水17回	4 水	火16回
4	木	4 土	みどりの日	4 火	火8回 駅前C	4 木	木12回 体育祭	4 日		4 水	水12回	4 金	金4回	4 月	振替休日	4 水	水12回	4 土	4 土	4 土	5 日	水17回	5 木	木17回	5 木	水17回
5	金	5 日	こどもの日	5 水	水7回	5 金	金12回	5 月		5 木	木13回	5 土	土5回 学校見学会 C科科目終末試験	5 火	火7回	5 木	木13回	5 日	5 日	5 日	6 木	木17回	6 金	金17回	6 金	木17回
6	土	6 月	振替休日	6 木	木8回	6 土	土8回 学校見学会	6 火	土8回 オープンキャンパス	6 金	金12回	6 日	日3回 学校見学会(保護者)	6 日	日3回	6 土	土13回	6 月	6 月	6 月	7 金	金17回	7 土	土17回	7 土	金17回
7	日	7 火	火4回	7 金	金8回	7 日	日13回 C科科目終末試験 日検シブハス	7 水		7 土	土9回 学校見学会(保護者)	7 月	月3回	7 月	月9回	7 土	土14回	7 月	7 月	7 月	8 土	土14回	8 日	日17回	8 日	金17回
8	前期スタート 前期スタート 月1回	8 水	月曜振替4回	8 土	土8回 学校見学会	8 月	月13回	8 木		8 日	日9回 実金9回 習らえは船橋予備	8 火	火5回	8 金	金9回 漢検	8 日	日10回 午前免除試験	8 月	8 月	8 月	9 土	土11回 月曜振替11回	9 日	日11回	9 日	金11回
9	火1回	9 木	木4回	9 日	日9回 午前免除試験 日曜簿記検定	9 火	火13回	9 金		9 月	月1回 後期スタート	9 水	水5回	9 土	土9回 学校見学会	9 月	月10回	9 月	9 月	9 月	10 日	日11回 学校見学会	10 日	日11回	10 日	金11回
10	水1回	10 金	金4回	10 月	月9回	10 水	水12回	10 土		10 火	火1回	10 木	木5回	10 日	日10回 秘書検定 色彩検定	10 火	火12回	10 月	10 月	10 月	11 土	土11回 学校見学会	11 日	日11回	11 日	金11回
11	木1回	11 土	土4回 学校見学会(保護者)	11 火	火9回 駅前C予備	11 木	木13回	11 日	山の日	11 水	水1回	11 金	金5回	11 月	月6回	11 月	月13回	11 水	11 水	11 水	12 土	土11回 学校見学会	12 日	日11回	12 日	金11回
12	金1回	12 日	日4回	12 水	水8回	12 金	金13回	12 土	振替休日	12 木	木1回	12 土	土5回	12 月	月8回	12 月	月14回	12 木	12 木	12 木	13 土	土11回 就職ガイダンス 就職模試	13 日	日11回	13 日	金11回
13	土	13 月	月5回	13 木	木9回	13 土	土14回 オープンキャンパス	13 日	受付	13 金	金1回 県内定着ガイダンス	13 土	土6回	13 月	月9回	13 月	月15回	13 水	13 水	13 水	14 土	土11回 成人の日	14 日	日11回	14 日	金11回
14	日	14 火	火5回	14 金	金9回 漢字検定	14 日	日14回	14 土	休業	14 月	月1回 学校見学会	14 火	火6回	14 土	土10回 学校見学会	14 月	月16回	14 水	14 水	14 水	15 土	土11回 成人の日	15 日	日11回	15 日	金11回
15	月2回	15 水	水4回	15 土	土9回 県民の日 オープンキャンパス	15 月	月15回	15 火	務停	15 水	水1回 敬者の日	15 木	木6回	15 金	金10回 金10回 模B検一般CBT	15 月	月17回	15 火	15 火	15 火	16 土	土11回 学校見学会	16 日	日11回	16 日	金11回
16	火2回	16 木	木5回	16 日	日9回 秘書検定	16 火	火14回	16 土	務停	16 月	月1回 敬者の日	16 水	水6回	16 金	金11回	16 月	月18回	16 水	16 水	16 水	17 土	土11回 学校見学会	17 日	日11回	17 日	金11回
17	水2回 水2回 研修会宿F 研修会宿F	17 金	金5回	17 土	土10回 月10回	17 月	月15回	17 火	務停	17 水	水2回	17 木	木6回	17 金	金12回	17 月	月19回	17 木	17 木	17 木	18 土	土11回 学校見学会	18 日	日11回	18 日	金11回
18	木	18 土	土4回	18 日	日9回	18 火	火16回	18 土	務停	18 水	水2回	18 木	木6回	18 金	金13回	18 月	月20回	18 水	18 水	18 水	19 土	土11回 学校見学会	19 日	日11回	19 日	金11回
19	金	19 日	日4回	19 水	水9回	19 土	土14回 金14回 模B検一般CBT	19 日	休業	19 月	月1回 学校見学会	19 火	火6回	19 土	土10回 学校見学会	19 月	月21回	19 木	19 木	19 木	20 土	土11回 学校見学会	20 日	日11回	20 日	金11回
20	土	20 月	月6回	20 金	金10回	20 土	土15回	20 日	成績発表	20 月	月1回 金10回 模B検一般CBT	20 火	火6回	20 土	土11回 学校見学会	20 月	月22回	20 水	20 水	20 水	21 土	土11回 学校見学会	21 日	日11回	21 日	金11回
21	日	21 火	火6回	21 土	土10回 実金10回 県内定着ガイダンス	21 月	月16回	21 火	学校見学会	21 水	水3回 オープンキャンパス	21 木	木6回	21 土	土11回 学校見学会	21 月	月23回	21 木	21 木	21 木	22 土	土11回 学校見学会	22 日	日11回	22 日	金11回
22	月3回	22 水	水5回	22 日	日9回 学校見学会(保護者)	22 月	月17回	22 火		22 水	水3回	22 木	木6回	22 土	土11回 学校見学会	22 月	月24回	22 木	22 木	22 木	23 土	土11回 学校見学会	23 日	日11回	23 日	金11回
23	火3回	23 木	木6回	23 日	日9回	23 月	月18回	23 火	体験入学②	23 水	水3回 秋分の日	23 木	木6回	23 土	土11回 学校見学会 三者面談	23 月	月25回	23 木	23 木	23 木	24 土	土11回 学校見学会	24 日	日11回	24 日	金11回
24	水3回 研修会宿GJ	24 金	金6回	24 土	土10回 県内定着ガイダンス	24 月	月19回	24 火	学校見学会	24 水	水3回	24 木	木6回	24 土	土11回 学校見学会	24 月	月26回	24 木	24 木	24 木	25 土	土11回 学校見学会	25 日	日11回	25 日	金11回
25	木	25 土	土6回	25 日	日9回	25 月	月20回	25 火	成績発表	25 水	水3回	25 木	木6回	25 土	土11回 学校見学会	25 月	月27回	25 木	25 木	25 木	26 土	土11回 学校見学会	26 日	日11回	26 日	金11回
26	金	26 日	日6回	26 月	月10回	26 火	火15回	26 土	再試験発表 学校見学会	26 水	水3回	26 木	木6回	26 土	土11回 学校見学会	26 月	月28回	26 木	26 木	26 木	27 土	土11回 学校見学会	27 日	日11回	27 日	金11回
27	土	27 月	月7回	27 日	日9回	27 月	月21回	27 火	再試験発表 学校見学会	27 水	水3回	27 木	木6回	27 土	土11回 学校見学会	27 月	月29回	27 木	27 木	27 木	28 土	土11回 学校見学会	28 日	日11回	28 日	金11回
28	日	28 火	火7回	28 月	月11回	28 火	火16回	28 土	再試験発表 学校見学会	28 水	水3回	28 木	木6回	28 土	土11回 学校見学会	28 月	月30回	28 木	28 木	28 木	29 土	土11回 学校見学会	29 日	日11回	29 日	金11回
29	月	29 水	水6回	29 日	日9回	29 月	月22回	29 火	再試験発表 学校見学会	29 水	水3回	29 木	木6回	29 土	土11回 学校見学会	29 月	月31回	29 木	29 木	29 木	30 土	土11回 学校見学会	30 日	日11回	30 日	金11回
30	火	30 木	木7回	30 日	日9回	30 月	月23回	30 火	再試験発表 学校見学会	30 水	水3回	30 木	木6回	30 土	土11回 学校見学会	30 月	月32回	30 木	30 木	30 木	31 土	土11回 学校見学会	31 日	日11回	31 日	金11回
31		31 金	金7回			31 月	月24回	31 火	学校見学会			31 水	水6回			31 月	月33回	31 木	31 木	31 木						

※年間講義回数
月 30回
火 31回
水 32回
木 32回
金 32回

※月曜日の振替が
年間で4回。
水で3回・木で1回

※9日 月曜振替
15日 月曜振替

※台風など臨時休校が
多い時は12月3週で
対応
※12月23日は
祝日ではない

※30日 月曜振替

※8日 月曜振替

※体育祭

※30日 水曜振替

※6日 月曜振替

※8日 月曜振替

※30日 水曜振替

※各科研修会宿

こども学科3学年

本校の教育方針	1
評価について／出欠席ルール	3
FJBネットID登録とメールアドレス	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	4
個人情報保護に関する基本方針	5
平成30年度教育目標と検定スケジュール	6
社会的養護内容	杉山 剛	7
青年心理学	杉山 剛	8
子どもの保健応用Ⅱ	杉山 剛	9
相談援助	杉山 剛	10
子どもの保健応用Ⅰ	渡邊 寿代	11
公務員試験対策講座演習総合	生越 雅志	12
就職講座A応用	江川 加津雄	13
医療基礎	杉山 剛	14
保育実習事前事後指導応用Ⅰ・Ⅱ／教育・保育演習総合Ⅰ・Ⅱ	津田 聡子	15
音楽総合Ⅰ・Ⅱ／教育・保育演習総合Ⅰ・Ⅱ	中川 菜穂	17
教育・保育演習総合Ⅰ	水鳥川洋子	19
教育・保育演習総合Ⅰ	津田 聡子	20
教育・保育演習総合Ⅱ	中川 菜穂	21
プレゼンテーション演習Ⅰ・Ⅱ	生越 雅志	22
Web総合演習Ⅰ・Ⅱ	生越 雅志	24
ビジネス文書Ⅰ・Ⅱ	高橋 豊	26
社会人基礎力演習Ⅰ・Ⅱ	生越 雅志	28

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居 高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡してできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいます。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

交通ルール

3号館前的大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@chiba-fjb.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にA～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

A	80以上	C	40～49
B	50～79	D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

実習(教育実習・保育所実習・施設実習)について

こども学科は幼稚園教諭二種免許と保育士免許の資格を同時に取得し、保育者として社会で活躍する専門職を養成する学科です。この専門職に就くためには他の教育・保育現場での実習が非常に重要になります。幼稚園実習2回・保育実習3回とも免許・資格の必修単位となります。(どちらか一方の取得は認められません)

学外実習は外部評価が基準になりますので、実習に行くまでの本人の学習内容が基準に満たない場合(基準単位未修得、人物評価等)は実習を実施できない事になります。

近畿大学九州短大スクーリングについて

1年次後期に近大スクーリングがあります。幼稚園教諭二種免許取得の必須単位となります。免許取得の意志がない場合、不参加となります。また、明らかな過失が認められる場合、旅費の負担が生じることがあります。

(詳細は別紙 → スクーリング詳細が決定次第、授業内でガイダンス)

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
 - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」

※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする

 - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「電子メール」「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡網について

クラスの諸連絡、台風や大雪の休校連絡等で使用します。各自、常に最新の連絡先を更新するようにしてください。登録されたアドレスに連絡がつかない場合、自己責任となります。また、メール連絡の環境に無い場合は担任へ申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやチャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@chiba-fjb.ac.jp

2019年度 教育目標と検定スケジュール

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人として、社会人としてのモラルを身につけ女性としての感性を育てる。 ・文化や専門的な知識技術を修得する中で、自ら主体的に課題を見つけ学ぶ姿勢を育てる。 ・仲間と考え学ぶ課程から、他者と共に学びあいと育ちあいの心を育てる。
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭二種 ・保育士 ・社会福祉主事（任用） ・秘書検定2級 ・MOS Word Excel ・医療事務関係の資格（未定）
1年次進級条件 <small>(修得単位、出席日数等以外)</small>	・音彩の会において指定された課題曲のクリア
2年次進級条件 <small>(修得単位、出席日数等以外)</small>	・音彩の会において指定された課題曲のクリア
卒業条件 <small>(修得単位、出席日数等以外)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭二種 ・保育士

こども学科

<方針>

- ①園児、保護者、同僚に愛され、信頼され、尊敬される保育者の養成
- ②経験に基づいた実践的、体験的な保育活動を取り入れる
- ③保育現場に赴き、先輩保育者の手法を学ぶ（ジョブシャドウイング）
- ④保育現場で必要とされるパソコンスキルの習得
- ⑤“まるい人間がまるい人間を育てる”笑顔の溢れる教場

1年次：保育基礎知識の学習、及び実践的な演習を行う。ジョブシャドウイングは2コマ。前期午後はビジネスライクセミナーと合同で、秘書検定2級の取得を目指す。2年次からの諸実習において、いち社人として振る舞えるよう鍛える。公務員試験対策は漢字と一般常識に絞って指導する。

2年次：保育応用知識の学習、及び実践的な演習を行う。ジョブシャドウイングは4コマ。Office演習として、前期はExcel、後期はWordのMOSを取得させる。義務付けられている諸実習において、基礎的な指導計画を立てられる能力を養う。公務員試験対策は計算問題と判断推理等、パターン学習の方式をとる。

3年次：幼児の保健と医療の基礎知識を学ぶ。後期では医療事務関係の資格の取得を目指す。実践的な演習は教授だけではなく、学生目らが教案を立て、検証させる。ジョブシャドウイングは5コマ。プレゼンテーションや基礎的なWeb作成技術を学び、現場で応用できる能力を養う。公務員試験対策は過去問題演習と面接、作文指導を行う。

必要な単位の未修得、資質を身に付けていない場合、実習を許可しない。実習後の評価が免許基準を満たさない場合、再実習となる。

1 学年

2 学年

3 学年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
1	幼稚園教諭二種 社会福祉主事（任用）																										☆
2	保育士																										☆
3	秘書検定2級																										
4	MOS Word Excel																										
5	医療事務関係の資格（未定）																										☆

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	社会的養護内容	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	未定		
参考資料	授業の都度必要に応じて配布する		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

児童福祉施設における養護の理解を深め、児童支援の知識や技能を習得する

2. 授業の目標(検定取得など)

事例を通して施設保育者の役割と意義を学び、自らの意見を述べる事ができる

3. 注意点・要望

施設実習で得た体験や知識を更に深めてほしい

4. 関連科目

社会的養護内容:社会福祉系全般

週	テーマ	内容
1	社会的養護内容の概要	乳児院・児童養護施設・ファミリーホームの養育をめぐる状況と支援の実際
2	家庭と施設の実際	ひとり親家庭、母子生活支援施設と支援の実際
3	情緒障害支援	情緒障害のある子どものための施設と支援の実際
4	障害児施設	障害児施設(入所・通所)の療育と支援の実際
5	社会的養護内容における自立支援	自立支援計画 子どもへの支援における記録について
6	子どもたちの未来のために	里親・ファミリーホームと専門機関とのつながり
7	虐待対応	虐待された子どもへの支援
8	様々な機関との連携	施設と家族との関わりと地域との連携
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

備考	
----	--

こども学科	3年
-------	----

【後期】

科目	青年心理学	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	未定		
参考資料	授業の都度必要に応じて配布する		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

青年期の発達課題を学び、誕生から青年期までの発達を見通して保育できるための基礎知識を獲得する

2. 授業の目標(検定取得など)

保護者に近い心理を学ぶことで、対人援助職である保育の専門家としての資質を向上させる

3. 注意点・要望

青年心理学:保護者の視点を「親」だけでなく「青年」として捉え、理解を深めるキッカケをつかんでほしい

4. 関連科目

心理学系全般

週	テーマ	内容
1	自我とは	青年期の自己形成(アイデンティティの確立)
2	心身発達バランス	青年期のからだところの発達
3	自立とは	青年期における自立(家族との関係)
4	友人とは	青年期の友人関係の発達
5	恋愛観の発達	青年期の恋愛と結婚
6	環境との関わり	青年と文化
7	人としてどう生きるか	青年期の道徳性の発達
8	保護者青年視点	青年心理学を保育に活かすために
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		

備考	日本教育心理学会所属の教員が、その経験や諸論文をもとに指導を行う。
----	-----------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	子どもの保健応用Ⅱ	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	未定		
参考資料	授業の都度必要に応じて配布する		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

2年次に学習した子どもの保健の応用。子どもの保健応用Ⅰの予習と復習

2. 授業の目標(検定取得など)

子どもの保健応用Ⅰで行う看護師との問題解決学習を基に、前回の理解内容、次回の質問事項を整理する

3. 注意点・要望

単なる知識の積み重ねではなく、実際に役立つ知識・技術は何か探求してほしい

4. 関連科目

子どもの保健、子どもの保健応用Ⅰ

週	テーマ	内容
1	主な食中毒の特徴と症状	こどもの症状からある程度のフローチャートが浮かび特定できる
2	乳幼児突然死症候群	SIDSの考えられる要因を排除し保育する
3	アレルギー性疾患	原因と対処方法 環境づくり
4	食物アレルギー	各職員との連携 確実に渡す方法
5	感染予防の留意点	対処方法 装備品の装着方法 正しい順番
6	予防接種	様々な種類と効能 時期の確認 母子手帳から学ぶこと
7	健康診断	各健診内容 発達
8	子どもに多い事故とその特徴	事故を未然に防ぐことと危険を学ばせること
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

備考	
----	--

こども学科	3年
-------	----

【後期】

科目	相談援助	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	未定		
参考資料	相談援助ワークブック		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
保育士として必要とされる相談援助活動(社会福祉援助技術)の基礎を習得する
2. 授業の目標(検定取得など)
援助展開における援助関係形成、援助過程や各技術を効果的に活用するための理論と方法を身に付ける
3. 注意点・要望
相談技術よりも自身がどうあるべきかをつかんでほしい
4. 関連科目
保育相談支援、教育相談、社会福祉系科目全般

週	テーマ	内容
1	相談援助の理論と方法1	ストレングス視点・エコロジカル視点・エンパワメントアプローチ
2	相談援助の理論と方法2	子どもの最善の利益とは あなたのための社会資源
3	相談援助のプロセス1	インテーク アセスメント プランニング
4	相談援助のプロセス2	失敗事例から学ぶ
5	価値と倫理	バイステックの7原則 ラポールの形成
6	評価の技法	スケールとグラフ 可視化 援助後の評価
7	傾聴のスキル	共感的理解 相手の枠組み 表面化の感情に気づく
8	対人援助に必要な技術	プロセスレコード アサーティブ エゴグラムチェックリスト
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		

備考	日本教育心理学会所属の教員が、その経験や諸論文をもとに指導を行う。
----	-----------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	子どもの保健応用 I	分類	専門科目
担当	渡邊 寿代		
テキスト (出版社)	よくわかる子どもの保健(ミネルヴァ書房)		
参考資料	授業時、必要に応じて資料を配布		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
「子どもの保健」の応用演習
2. 授業の目標(検定取得など)
子どもの保健について全般的な学びを取得し、緊急時の対応など実践力を学ぶ
3. 注意点・要望
実習などを通して、保健に関する疑問点などを質問して欲しい。又、自分自身の健康管理も考えて欲しい。
4. 関連科目
子どもの保健

週	テーマ	内容
1	保健衛生・安全衛生対策①	保育指針より教育・保育施設における事故防止及び健康安全管理
2	保健衛生・安全衛生対策②	保育指針より感染症対策
3	体調不良時や傷害時の対応①	咳(喘息)、皮膚症状(発疹など)
4	体調不良時や傷害時の対応②	外傷時の手当て(熱傷、骨折、脱臼、擦過傷など)
5	体調不良時や傷害時の対応③	転倒・転落、熱性痙攣、異物混入など
6	個別配慮を必要とする子どもへの対応①	アレルギー総論
7	個別配慮を必要とする子どもへの対応②	食物アレルギー(エビペンも含む)
8	個別配慮を必要とする子どもへの対応③	小児喘息、アトピー性皮膚炎
9	個別配慮を必要とする子どもへの対応④	慢性疾患や障害を持つ子どもの保育や援助
10	子どもの精神保健①	子どもの生活環境と精神保健
11	子どもの精神保健②	虐待、子どものトラウマについて
12	母子保健と保育①	母子保健理論と保育所との連携
13	母子保健と保育②	母親のメンタルヘルス、育児環境と精神保健
14	子どもの生活習慣について	生活習慣病予防、健康づくりの配慮
15	保健活動の計画及び評価	保健計画の作成と活用について

備考	現在保育園で看護師として勤務しており、現場での実情も踏まえた実務的な知識を伝えたい。
----	--

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	公務員試験対策講座演習総合	分類	専門科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	25%	25%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

公務員試験の対策を行う 3年次は実践力の強化を行う

2. 授業の目標(検定取得など)

様々な問題に触れ、実践力をつけていく

3. 注意点・要望

一般人レベルの常識を身につける最後のチャンスなので頑張ってください

4. 関連科目

公務員試験一般教養科目

週	テーマ	内容
1	公務員試験対策演習1	問題演習
2	公務員試験対策演習2	問題演習
3	公務員試験対策演習3	問題演習
4	公務員試験対策演習4	問題演習
5	公務員試験対策演習5	問題演習
6	公務員試験対策演習6	問題演習
7	公務員試験対策演習7	問題演習
8	公務員試験対策演習8	問題演習
9	公務員試験対策演習9	問題演習
10	公務員試験対策演習10	問題演習
11	公務員試験対策演習11	問題演習
12	公務員試験対策演習12	問題演習
13	公務員試験対策演習13	問題演習
14	公務員試験対策演習14	問題演習
15	公務員試験対策演習15	問題演習

備考	
----	--

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	就職講座A応用	分類	教養科目
担当	江川 加津雄		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	100%	0%	0%	0%	100%		

1. 授業の概要
本格的な就職活動を控えて、実践的かつ具体的な支援を行う。
2. 授業の目標(検定取得など)
希望する幼稚園や保育所、施設などから内定を得て、働くための準備を行う。
3. 注意点・要望
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	就職指導1	他己分析(クラスメートの良い点を見つける)
2	就職指導2	自己分析1(他己分析から、自分の長所を知る)
3	就職指導3	自己分析2(ジョブカードの見直し)
4	就職指導4	自己分析3(自己PR文を書く)
5	就職指導5	履歴書作成1(履歴書を書いてみる)
6	就職指導6	履歴書作成2(履歴書の見直し)
7	就職指導7	履歴書作成3(履歴書の完成)
8	就職指導8	作文の書き方1(テーマ1:授業で発表)
9	就職指導9	作文の書き方2(添削、見直し)
10	就職指導10	作文の書き方3(テーマ2:授業で発表)
11	就職指導11	作文の書き方4(添削、見直し)
12	就職指導12	幼稚園教諭・保育士・施設職員の心構え
13	就職指導13	面接対策1(模擬面接)
14	就職指導14	面接対策2(模擬面接)
15	就職指導15	面接対策3(模擬面接)

備考	16年の社会人経験と31年の就職指導経験のある職員(職業紹介責任者講習受講済)が、その経験に基づいて、就職活動全般及び個別の事例について、講義と指導を行う。
-----------	--

こども学科	3年
-------	----

【後期】

科目	医療基礎	分類	教養科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	未定		
参考資料	授業の都度必要に応じて配布する		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	6
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

保育を行うにあたっての基本的な医療知識を、医療事務の教育課程で学習する

2. 授業の目標(検定取得など)

医療事務の簡易な検定はチャレンジできるくらいの知識をつけさせたい

3. 注意点・要望

4. 関連科目

子どもの保健、子どもの食と栄養

週	テーマ	内容
1	医療保険制度1	医療保険制度の概要
2	医療保険制度2	医療保険の給付
3	初診	初診料算定、加算項目、特例等
4	再診	再診料算定、加算項目、2科目外来診療料等
5	処置1	一般、救急、皮膚科、泌尿器科
6	処置2	産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、ギプス、栄養
7	手術	手術料算定、共通加算、薬剤料、手術医療機器等加算、材料料等
8	輸血・麻酔	輸血量算定、輸血管理料等 麻酔料、神経ブロック料
9	検査1	検体検査
10	検査2	生体検査
11	検査3	病理診断
12	注射	注射料算定、薬剤料、皮内・皮下及び筋肉、静脈内、その他(点滴等)
13	投薬	薬剤基礎知識、内服薬、頓服薬、外用薬、院内処方
14	画像診断	エックス線診断料、コンピュータ断層撮影診断料
15	総合演習1	問題演習とレセプト点検
16	総合演習2	問題演習とレセプト点検
17	総合演習3	問題演習とレセプト点検

備考	
----	--

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	保育実習事前事後指導応用Ⅰ／教育・保育演習総合Ⅰ	分類	専門科目
担当	津田 聡子		
テキスト (出版社)	保育所保育指針		
参考資料	保育士のための書き方講座 保育者のための児童家庭福祉データブック 実習の日誌と指導案		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

保育実習Ⅱ または 保育実習Ⅲのための準備と、実習内容の質の向上のための学習

2. 授業の目標(検定取得など)

指導案作成により部分・責任実習を行う 質の高い実習を行う

3. 注意点・要望

実習だからこそその学びについての目標をしっかり持ち望む

4. 関連科目

教育保育演習

週	テーマ	内容
1	実習の目的と意義	実習の概要 自己評価について 前回の実習の振り返り
2	事前学習	自身の実習先を熟知する
3	保育実習内容	指導案の必要性を知り、部分・責任実習について学ぶ
4	実習日誌作成	計画・目標等実習日誌を個々で作成する
5	オリエンテーション概要	オリエンテーションの事前準備、事後からの実習へ向けてをまとめる
6	指導案作成	書き方を学ぶ 様々な年齢の保育内容の事例をもとに自身の指導案を作成
7	指導案作成	書き方を学ぶ 様々な年齢の保育内容の事例をもとに自身の指導案を作成
8	学外実習演習	1階保育室で部分、責任実習演習
9	学外実習演習	1階保育室で部分、責任実習演習
10	書類の書き方	計画・記録の必要性を学び実際の様子を見ながら実習ノートを書くポイントを復習
11	書類の書き方	計画・記録の必要性を学び実際の様子を見ながら実習ノートを書くポイントを復習
12	書類の書き方	計画・記録の必要性を学び実際の様子を見ながら実習ノートを書くポイントを復習
13	書類の書き方	計画・記録の必要性を学び実際の様子を見ながら実習ノートを書くポイントを復習
14	お礼状の書き方	自分の言葉で心あるお礼状を書く
15	実習反省・報告	実習総括と自己反省を行う

備考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【後期】

科目	保育実習事前事後指導応用Ⅱ／教育・保育演習総合Ⅱ	分類	専門科目
担当	津田 聡子		
テキスト (出版社)	保育所保育指針		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

研究テーマをもって学習を進める。論文を作成する。

2. 授業の目標(検定取得など)

研究テーマに沿った論文

3. 注意点・要望

様々な文献をもとに進めていく中で、実際の保育、養育、療育現場での事例や体験をもとに作成していく。

4. 関連科目

教育保育演習

週	テーマ	内容
1	各自の研究テーマ	各自のテーマを決める。計画書作成
2	各自の研究テーマ	各自のテーマを決める。計画書作成
3	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
4	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
5	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
6	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
7	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
8	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
9	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
10	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
11	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
12	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
13	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
14	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
15	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
16	卒業研究	各自論文作成にむけてすすめる。
17		

備考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	音楽総合 I / 教育・保育演習総合 I	分類	専門科目
担当	中川 菜穂		
テキスト (出版社)	ポケットいっぱいのおた		
参考資料	ピアノ名曲集 ブルクミラー		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	20%	0%	40%	20%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
子どもの歌の弾き歌いを中心に教育現場での実践的な演奏方法を身につける。演奏技術にとどまらず表現豊かに演奏する
2. 授業の目標(検定取得など)
音楽の基本である楽しさを子どもたちに伝えるように表現する
3. 注意点・要望
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	春の歌弾き歌い 名曲鑑賞	ピアノ演習 クラシックの名曲を鑑賞
2	春の歌弾き歌い 選曲	ピアノ演習 卒業研究発表会に弾く名曲を選択する
3	春の歌弾き歌い 選曲	ピアノ演習 卒業研究発表会に弾く名曲を選択する
4	春の歌弾き歌い 音彩の会組み立て	ピアノ演習 4月の課題曲マンスリーチェック
5	春の歌弾き歌い 合奏練習	ピアノ演習 子どもたちに贈るための合奏組み立て
6	春の歌弾き歌い 合奏練習	ピアノ演習 合奏演習
7	春の歌弾き歌い 合奏練習	ピアノ演習 5月の課題曲マンスリーチェック
8	夏の歌弾き歌い 合奏練習	ピアノ演習 合奏練習
9	夏の歌弾き歌い 合奏練習	ピアノ演習 合奏練習
10	夏の歌弾き歌い 合奏練習	ピアノ演習 合奏練習
11	夏の歌弾き歌い 合奏練習	ピアノ演習 6月の課題曲マンスリーチェック
12	夏の歌弾き歌い 合奏練習	ピアノ演習
13	夏の歌弾き歌い 合奏練習	ピアノ演習
14	音彩の会リハーサル	コンサートに向けて演奏の仕上げる 子どもたちを迎える準備をする
15	子どもたちを迎えてコンサート	コンサートホールで演奏し音楽のもたらす美しい音色の空間をみんなで共感しあう

備考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【後期】

科目	音楽総合Ⅱ／教育・保育演習総合Ⅱ	分類	専門科目
担当	中川 菜穂		
テキスト (出版社)	ポケットいっぱいのおうた		
参考資料	ピアノ名曲集 ブルクミラー		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	20%	0%	40%	20%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
子どもの歌の弾き歌いを中心に教育現場での実践的な演奏方法を身につける 演奏技術にとどまらず表現豊かに演奏する
2. 授業の目標(検定取得など)
音楽の基本である楽しさを子どもたちに伝えるように表現する
3. 注意点・要望
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み	各自選んだ曲に取り組む
2	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み	各自選んだ曲に取り組む
3	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み	9月課題曲のマンスリーチェック
4	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	各自選んだ曲に取り組む 合唱曲を選ぶ
5	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	各自選んだ曲に取り組む
6	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	各自選んだ曲に取り組む
7	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	10月課題曲のマンスリーチェック
8	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	各自選んだ曲に取り組む
9	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	各自選んだ曲に取り組む
10	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	各自選んだ曲に取り組む
11	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	11月課題曲のマンスリーチェック
12	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	各自選んだ曲に取り組む
13	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	12月課題曲のマンスリーチェック
14	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	各自選んだ曲に取り組む
15	秋の歌弾き歌い 自分で選んだ大曲に取り組み 合唱	各自選んだ曲に取り組む
16	音彩の会りハーサル	コンサートに向けて演奏の仕上げる 子どもたちを迎える準備をする
17	子どもたちを迎えてコンサート	コンサートホールで演奏し音楽のもたらす美しい音色の空間をみんなで共感しあう

備考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	教育・保育演習総合 I	分類	専門科目
担当	水鳥川洋子		
テキスト (出版社)	なし。プリントを配布する。		
参考資料	むずかしい子を育てるペアレント・トレーニング(明石書店)		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	30%	30%	20%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
現代の子どもを巡る社会の現状を理解し、児童福祉施設で暮らす子どもたちの養育について基本的な事柄を学ぶとともに、広く現代の子どもたちの健全な発達を支援するための具体的な援助の方法を学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
現代の社会状況や児童福祉施設入所児の暮らしの実態を理解した上で、子ども理解の方法と現場で役に立つ具体的支援の方法を身につける
3. 注意点・要望
主体的な取り組みをすること
4. 関連科目
発達心理学 児童家庭福祉

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション 自分のストレンクスを知るⅡ	①授業及び将来の職業についてのオリエンテーション ②グループワークを通して自分のストレンクスを知る
2	心の発達課題と現代の子どもたち	エリクソンの発達理論をもとに子どもの心の発達を考える
3	虐待を受けた子ども達の心の発達の危機	虐待を受けた子どもたちの心理と行動を考える
4	心の発達を支援するための手がかり	子どもたちの健全な心の発達を支援するための基本的な考え方と方法を学ぶ
5	養育環境に問題がある子どもたちが入所する施設の暮らしと支援	特に乳児院入所児への発達支援を学ぶ
6	施設入所児の支援の過程: アドミッションケアとインケア	施設入所児に対するアドミッションケア、インケアを学ぶ
7	施設入所児の支援の過程: リービングケア、アフターケア	施設入所児に対するリービングケア、アフターケアを学ぶ
8	実習で出会った気になる子どもたち (1)	自立支援計画の作成とグループ討議による事例検討
9	実習で出会った気になる子どもたち (2)	自立支援計画をもとにしたグループ討議とその結果の発表
10	問題行動の理解と対応	問題行動の意味と問題行動への具体的対応方法の考え方を学ぶ
11	被虐待児の理解と対応	被虐待児の行動特性と具体的支援の方法を学ぶ
12	障害児の理解と対応	知的障害児の特性と具体的支援の方法を学ぶ
13	予防的教育法	子どもの示す問題行動に対して、前もって対処法を練習させることで効果的に対処できるようになる方法を学ぶ
14	問題行動を正す教育法	子どもの問題行動に対して、社会的に望ましい行動を提示し、練習させる方法を学ぶ
15	自分自身をコントロールする方法	子どもが親や保育士の指示に従わず、感情的になり、泣き叫んだり、すねたりした時の対処方法を学ぶ

備考	児童相談所等児童福祉関係での現場体験30年の教員が、その経験を生かして、子どもの示す問題行動の理解と具体的対応方法を体験学習も取り入れながら講義する
----	--

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	教育・保育演習総合 I	分類	専門科目
担当	津田 聡子		
テキスト (出版社)	赤ちゃんの微笑みに誘われて・探しながら自分を生きる		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

1階保育現場学習を行う 保育の遊びの部分をテキストや現場のエピソードより読み解く

2. 授業の目標(検定取得など)

教育・保育実習へ向けて乳幼児の理解を深める

3. 注意点・要望

文章による表現を高めていく

4. 関連科目

教育実習事前事後指導 保育実習事前事後指導

週	テーマ	内容
1	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
2	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
3	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
4	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
5	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
6	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
7	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
8	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
9	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
10	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
11	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
12	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
13	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
14	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ
15	乳幼児の理解	教育・保育現場にて学外学習 遊びにおける身体発達、情緒をエピソードより学ぶ

備考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【後期】

科目	教育・保育演習総合Ⅱ	分類	専門科目
担当	中川 菜穂		
テキスト (出版社)			
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	6
	0%	20%	50%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
3年間能力学びの集大成 演習を通して子どもの育ちと保育者の心持を学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
子どもたちの心をとらえる作品を作り現場で演じる
3. 注意点・要望
学生一人一人が自分に課題を持ちながら進めていくことを望む
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	子どもの文学にとうての学習	言葉を語る「語りの世界」を学び発展性を養う
2	視覚的表現法	子どもの文学から視覚的表現の発展 人形作り
3	視覚的表現法	子どもの文学から視覚的表現の発展 人形作り
4	詩 素話の実践	子どもたちに何を伝えたいかを実践の中から見出す
5	劇の組み立て	子どもの育ってほしい姿の視点から劇遊びについて考える
6	劇の組み立て	絵本から題材を選び劇の脚本を作る お話の世界観イメージの共有
7	劇遊び演習	一人一人が役割を持ち一つの作品を作り上げる
8	劇遊び演習	一人一人が役割を持ち一つの作品を作り上げる
9	劇遊び演習	一人一人が役割を持ち一つの作品を作り上げる
10	劇遊び演習	一人一人が役割を持ち一つの作品を作り上げる
11	道具 衣装づくり	お話の世界観を背景や小道具 衣装を作ることで表現する
12	道具 衣装づくり	お話の世界観を背景や小道具 衣装を作ることで表現する
13	保育現場での実践	実践を通しての学びを深める
14	保育現場で使うものを作る	パネルシアター エプロンシアターなどの教材を作り保育現場での学習を深める
15	保育現場で使うものを作る	パネルシアター エプロンシアターなどの教材を作り保育現場での学習を深める
16	保育現場実践	実践を通しての学びを深める
17	保育現場実践	実践を通しての学びを深める

備考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	プレゼンテーション演習 I	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
自分の考えをまとめ、しっかりと話ができる力をつける
2. 授業の目標(検定取得など)
考えをまとめるための型を学ぶ
3. 注意点・要望
授業内での課題の成果で評価します
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方・プレゼンテーションとは何か？
2	何を伝えるか	四つの接続詞 文章の組み立て方
3	〃	〃
4	発想法	ブレインストーミング、マインドマップ
5	〃	カード法、マンダラート
6	伝え方を考える	目線や姿勢、声の大きさ、原稿の使い方など
7	〃	イエスと言ってもらえる話の7つの切り口について
8	相手を考える	相手のニーズを考える
9	言葉を考える	キャッチコピーを考える
10	〃	〃
11	プレゼンテーション	チームでの発表
12	〃	〃
13	〃	〃
14	〃	〃
15	素材の集め方	インターネットの怖さ

備考	本校の広報部門にて業務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【後期】

科目	プレゼンテーション演習Ⅱ	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
実践を通して、伝えることの難しさを学ぶ。他人の価値観を共有し、自分の見識を広げる。
2. 授業の目標(検定取得など)
前期で学んだ伝える技術を使い、卒業研究の発表に向けて資料と原稿を作成する
3. 注意点・要望
スライドと原稿をしっかりと作成すること
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	プレゼンテーション実践	卒業研究の資料を作成し、発表する
2	〃	〃
3	〃	〃
4	〃	〃
5	〃	〃
6	〃	〃
7	〃	〃
8	〃	〃
9	〃	〃
10	〃	〃
11	〃	〃
12	〃	〃
13	〃	〃
14	〃	〃
15	〃	〃
16	〃	〃
17	〃	〃

備考	本校の広報部門にて業務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	Web総合演習 I	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
ホームページ作成の基礎を学び、さまざまなテーマのホームページを作成する
2. 授業の目標(検定取得など)
自ら情報を発信できるスキルを身に付ける
3. 注意点・要望
授業内の課題で評価します
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	
2	インターネットのしくみを知る	サーバ、URL、ディレクトリ、ハイパーリンクなどの用語の意味や仕組みを知る
3	ホームページの基礎知識	HTMLやタグなど作成をするにあたっての用語の意味や仕組みを知る
4	作成の準備	拡張子、メモ帳、ブラウザ、フォルダの作成
5	作成	表示する文章を作る、タグを使ってみる
6	〃	〃
7	〃	〃
8	〃	リンクを張って、ホームページをつなげる
9	〃	ホームページを公開する
10	〃	スタイルシートを使う
11	〃	画像を表示してみよう
12	〃	タイトルのロゴなどの素材をペイントで作成
13	〃	表を使って見やすくしよう
14	〃	ギャラリーページを作ろう
15	〃	GoogleマップやYoutubeの動画をいれよう

備考	本校の広報部門にて業務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【後期】

科目	Web総合演習Ⅱ	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
ホームページ作成の基礎を使い、さまざまなテーマのホームページを作成する
2. 授業の目標(検定取得など)
自ら情報を発信できるスキルを身につける
3. 注意点・要望
授業内での課題の成果で評価します
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ホームページ作成①	ホームページを作成し、発表をする
2	〃	〃
3	〃	〃
4	〃	〃
5	〃	〃
6	ホームページ作成②	ホームページを作成し、発表をする
7	〃	〃
8	〃	〃
9	〃	〃
10	〃	〃
11	〃	〃
12	ホームページ作成③	ホームページを作成し、発表をする
13	〃	〃
14	〃	〃
15	〃	〃
16	〃	〃
17	〃	〃

備考	本校の広報部門にて業務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	ビジネス文書 I	分類	教養科目
担当	高橋 豊		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
日本語の表現方法を理解し、言葉の用い方、記述方法を学び、演習を通して文章作成能力を高める。
2. 授業の目標(検定取得など)
保育士、幼稚園の採用試験での論作文に対応し、合格のレベルまで持っていく。
3. 注意点・要望
プリント・資料を多く配布するので、きちんとファイリングすること。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	授業概要 小論文と作文	授業の概要。小論文と作文を定義し、その概要を学ぶ。
2	小論文の構成	小論文の構成を分析し、文書作成に活かす。
3	日本語表現①	敬語の使い方を学ぶ。
4	日本語表現②	説得力のある文章を学ぶ。
5	日本語表現③	リアリティのある文章を学ぶ。
6	文章を書く能力を身につける①	誤りのない言葉で文章を書く。
7	文章を書く能力を身につける②	文法的に正しい文章を書く。
8	文章を書く能力を身につける③	読みやすく分かりやすい文章を書く。
9	文章を書く能力を身につける④	文章の組み立て方を学ぶ。
10	小論文演習①	自己の内面をアピールして書く。
11	小論文演習②	アイディアの斬新さを出して書く。
12	小論文演習③	時事問題の知識をアピールして書く。
13	小論文演習④	専門分野の知識をアピールして書く。
14	小論文演習⑤	専門分野の知識をアピールして書く。
15	前期試験	効果測定

備考	修士にて国語科教員免許を所持し、高等学校にて指導経験があり、本校においても就職指導部門にて勤務している教員が、その経験を活かして講義を行う。
-----------	--

こども学科	3年
-------	----

【後期】

科目	ビジネス文書Ⅱ	分類	教養科目
担当	高橋 豊		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
実務に役立つ文書作成の知識と技術の全般を学ぶ。また、文章を正しく理解してビジネス文書を作成する。
2. 授業の目標(検定取得など)
日本語文章の正しい理解と文書作成能力の向上を目指し、社会に通用するビジネス文書の作成を目標とする。
3. 注意点・要望
プリント・資料を多く配布するので、きちんとファイリングすること。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	導入・概要	ビジネス文書の概要と授業の概要を把握する。
2	ビジネス文書の役割とその種類	ビジネス文書が果たす役割を考察し、文書の種類とその特徴を理解する。
3	文章表現技能 連絡帳①	主語と述語の関係、指示語や助詞などの用い方を連絡帳作成を通して学ぶ。
4	文章表現技能 連絡帳②	簡潔でわかりやすい文章を学び、正確で誤りのない文章を書けるようにする。
5	文章表現技能 連絡帳③	相手に失礼がない文章を、敬語表現踏まえて学ぶ。
6	ビジネス文書の表記と表現①	ビジネス文書の用語と文書の形式について学ぶ。
7	ビジネス文書の表記と表現②	ビジネス文書の慣用句と文書の定型について学ぶ。
8	メール文書	メール文書の特徴と、ビジネス文書としてのメールの書き方を学ぶ。
9	社外文書①	社外文書を理解し、その書き方を学ぶ。
10	社外文書②	案内状、通知状の作成。
11	社外文書③	依頼状、照会状の作成。
12	社内文書①	社内文書を理解し、その書き方を学ぶ。
13	社内文書②	報告書、連絡書の作成。
14	儀礼文書①	郵便の知識と文書の取り扱いについて学び、理解を深める。
15	儀礼文書②	挨拶状、お見舞い状の作成
16	郵便 文書の取り扱い	郵便の知識と文書の取り扱いについて学び、理解を深める。
17	後期試験	

備考	修士にて国語科教員免許を所持し、高等学校にて指導経験があり、本校においても就職指導部門にて勤務している教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	--

こども学科	3年
-------	----

【前期】

科目	社会人基礎力演習 I	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
机上では学べないものを、自らの体験を通して学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
保育現場で活かせるスキルの習得をめざし、記録に残す。
3. 注意点・要望
体験したものは、100シートにまとめ提出のこと。評価の対象となります。天候などにより一部内容が変わる場合があります。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ガイダンス・歓迎会準備	100シートと評価について・歓迎会の企画
2	歓迎会	劇など
3	実習準備	教育実習のための準備・制作など
4	実習準備	教育実習のための準備・制作など
5	実習準備	教育実習のための準備・制作など
6	実習準備	教育実習のための準備・制作など
7	実習準備	保育実習のための準備・制作など
8	救命	心肺蘇生とAEDの使い方を学ぶ
9	実習準備	保育実習のための準備・制作など
10	実習準備	保育実習のための準備・制作など
11	実習準備	保育実習のための準備・制作など
12	研修合宿準備	バスレクなどの企画
13	研修合宿	
14	若幸祭準備	若幸祭にむけて企画を考える
15	若幸祭準備	若幸祭にむけて企画を考える

備考	幼稚園・保育園の職員経験者の職員と共に、常に現場を意識した授業となります。
----	---------------------------------------

こども学科	3年
-------	----

【後期】

科目	社会人基礎力演習Ⅱ	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
机上では学べないものを、自らの体験を通して学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
保育現場で活かせるスキルの習得をめざし、記録に残す。
3. 注意点・要望
体験したものは、100シートにまとめ提出のこと。評価の対象となります。天候などにより一部内容が変わる場合があります。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	若幸祭準備	若幸祭にむけて企画を考える
2	若幸祭準備	若幸祭にむけて企画を考える
3	若幸祭準備	若幸祭にむけて企画を考える
4	若幸祭準備	若幸祭にむけて企画を考える
5	若幸祭準備	若幸祭にむけて企画を考える
6	若幸祭準備	若幸祭にむけて企画を考える
7	若幸祭	
8	若幸祭反省	
9	球技大会企画	球技大会の企画を考える
10	球技大会企画	球技大会の企画を考える
11	球技大会	夏見台幼稚園の体育館にて実施
12	卒業研究	
13	卒業研究	
14	卒業研究	
15	卒業研究	
16	卒業研究	
17	卒業研究	

備考	
----	--

